

# 「深い学び」を具現する授業デザイン例 社会（小）

## 学習指導要領における領域・内容

小学校 〔第6学年〕

(2) ア-(サ) 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。

## 本時のねらい

戦争当時の子どもたちを取り巻く環境を調べることを通して、子どもたちも言論を統制されたり、戦争に関する教育を受けたりするなど、戦時体制の下であらゆることが制限されていたことを説明することができる。

授業デザイン例	学習者の視点	授業者の視点
<p><b>視点①</b></p> <p>あれ？変だわ。</p> <p>何が変なの？</p> <p>だって今までの学習で、私たちは絶対に戦争に行きたくないと思っていたでしょ？</p> <p>本当だ！それなのに、どうしてAさんは軍人になりたいと思ったのかな？</p> <p>真剣な表情で訓練していたよ。</p> <p>地方へ疎開する子どももいたみたい。</p> <p>兵隊ごっこをして遊んでいたことが分かったわ。</p> <p>何もかも戦争だから「軍人になりたい。」と思ったのかな。</p> <p><b>視点②</b></p> <p>そうか！戦時体制だったから、子どもたちも戦争に協力しなくてはならなかったのね。</p> <p>行きたくないと思っても、言えないような世の中だったんだ。</p> <p>つまり、子どもたちも戦争に協力しなくてはならない生活を送っていたんだね。だからAさんは軍人になりたいと思ってしまうようになったのかな。</p>	<p>子どもの頃、出征の様子を見ながら「自分も立派な軍人になりたい。」と思っていました。</p> <p>Aさん</p> <p>どうして軍人になりたいと思ったのでしょうか？当時の子どもたちの生活の様子を、資料を使って調べましょう。</p> <p>どうして何もかも戦争になったのでしょうか？「戦時体制」の資料も見てみましょう。</p> <p>「戦争に行きたくない。」と思った人はいなかったのでしょうか？</p> <p>※ 実際に「戦争に行きたくない。」と思っていた人の映像も視聴させ、考えを広げ、深められるようにする。</p> <p>調べて分かったこと、考えたことから、めあてについてまとめましょう。つまり…？</p>	<p>戦争当時、みなさんと同じくらいの年齢だったAさんの動画を見てみましょう。</p> <p><b>視点D</b></p> <p><b>視点O</b></p>
<p>本時における「深い学び」を具現する仕掛けや発問</p> <p>□ 当時の子どもたちを取り巻く環境を調べたところで、社会的背景を問い、新たに「戦時体制」の意味がわかる資料を提示したり「戦争に行きたくない。」と思っていた人の映像を視聴させたりする。これにより、「当時の世の中は何もかも戦争だった。」といった理解から、なぜそういう世の中だったのかといった理由まで考えを広げ、深められることが期待できる。(視点O→視点②)</p>		